第30回NWM in 四国

めぐる

～人生という巡礼の旅～

2016年2月27日から28日にかけてネットワークミーティングin四国2016（以下NWM）が松山市の聖カタリナ学園セミナーハウスにて開かれました。NWMとは、カトリック青年連絡協議会が提供する、情報交換と交流を目的としたカトリック青年の全国大会で、年に2回教区の持ち回りで開催されます。高松教区での開催は今回が初であり、スタッフを含め全国から130名を超える青年や青年活動を支える司祭・修道者が一堂に集いました。

「めぐる一人生という巡礼の旅一」これがNWM in 四国を開催するに当たって設定したテーマですが、このテーマは「四国八十八ヶ所巡礼」「お遍路さん」からヒントを得て設定しました。「山あり谷あり、人生も巡礼の旅と同じようなものではないか」という発想から「めぐる」というキーワードを使って自分の人生や信仰生活について考えるといった趣旨のものです。

諏訪司教様によるみ言葉の祭儀でNWM in 四国は開幕し、2日間を通して様々なプログラムが行われました。1日目のメインプログラムである「めぐるをめぐる」は、スタッフが5つの部屋に分かれ、「めぐる」という言葉を表した5種類の図についてそれぞれ説明する「プレゼンター」になり、それを班ごとに「めぐって」いくというプログラムです。プレゼンターであるスタッフはそれぞれ自分の体験を交えて、「めぐる」というキーワードについて伝えました。それに対し参加者は自分の人生や信仰生活を振り返りつつその言葉について分かち合いを行いました。

また2日目に行われた「8.8ヶ所めぐり」はわざわざ四国まで足を運んでもらった参加者に「お遍路さん体験」をしてもらおうと、会場のセミナーハウスの周囲約7キロに設定した巡礼の道を8.8ヶ所の札所を、班ごとに巡りながら歩くというプログラムです。それぞれの札所では、参加者は話を聞いたり、分かち合いをしたり、祈りをささげたりしました。これらのプログラム以外にもテゼの祈りや各教区の青年によるインフォメーションなど、盛りだくさんのプログラムとなりました。

食事に関して、特記しておきたいのは1日目の夕食、2日目の昼食です。高知の信徒の方から本場のカツオのたたきをいただき、1日目の夕食で参加者に振る舞われました。また2日目の朝から香川地区の「うどん隊」の皆さんが会場に来ていただき、昼食では本場の味「特製手打ち讃岐うどん」を頂きました。

全てのプログラムが終わり、ミサ、閉会式が執り行われました。最後に実行委員長からの挨拶に代えて、「人生という巡礼の旅は楽しい時もあれば辛い時もある。しかしいつも神様がともにおられる（同行二人＝インマヌエル）ことを忘れずに希望を持って、歩んでほしい」というメッセージを伝え、NWM in 四国は閉幕しました。

NWM in 四国 2016 代表 桜町教会　渡邊 信

スタッフからのメッセージ

NWM はぼくにとってとても良い経験・想いでになりました。初めての参加で運営側での二日間、いざやり始めてみると、とても忙しく大変でしたが、終わってみると早いもので「やりきった！楽しかった！」と思える具体充実しました。大変だったことは、各班にプレゼンすることでした。結果としては一方的に話をしていたので、うまく言いたい事伝えられたのか心配でした。全国の人と会えて、イエス・キリストやキリスト教という宗教の価値観がたくさん知れてとても良かったです。
【小川礼二】

みなさんこんにちは！５班の班付きスタッフをさせていただいた生治です。NWM はこれで 2 回目の参加となりました。前にお会いした人と再会したり、初めてですごく話せた人もいたり、いろんな人との出会いがありました。2 日目のポイントラリー、晴天に恵まれ（せっかく用意したホッカイロの意味がぁー↓↓↓）みなさん気持ちよく歩かれていてましたね。「次はどの班が来るかな、どんな反応するのかな」と心待ちにしながら 2 番札所で待っていたのを思い出します。みなさん、これからも「コミュニケーション」を大切に！！！皆さんと共にとても楽しく、また自分の人生について考えられる良い 2 日間にすることが出来たと感じています。本当にありがとうございました。 【生治純一】

この全国規模の集いのために、高松教区で何ができるのか、四国らしさをどのようにアピールできるのかスタッフ一同一年がかりの準備を進めてきました。私たちが一番大切にしてきたことは、分かち合いと祈りです。その中から結晶のように出てきたものが今回のテーマである「めぐる」。“人生という巡礼の旅” をめぐらせてみました。一日目は私たちの人生とキリストの生涯をめぐり、二日目は風早の地８．８ヶ所めぐり、約６．５ｋｍをめぐるのです。各ポイントでは想いめぐらせる課題とおもてなしが待っていました。仲間と分かち合いながら、冷たい風に打たれつつ、お接待のありがたさに喜びの歓声をあげたり、沈黙のうちにひたすら海を眺めながら歩いたり、道端のおばちゃんに話しかけられたり・・・すべては仕掛け！全国から四国へ集まった若者たちの様々な反応を仕掛け人としては、一緒にめぐり、もっと身近に感じたかったです。 【Sr. 佐々木裕子】

NWM in 四国に、わずかながらスタッフとして参加させて頂き、本当に幸せでした。1 年に及ぶスタッフの皆さんの取り組みは素晴らしく、部分部分でしか参与できなかった私にも、その実りと深まりを惜しみなく分かち合わせて下さりました。当日遠路遥々お越し下さった参加者の皆さんにも伝わったと、感じます。無事に閉会した後、それを見届けたかのように、溝部司教様は天に召されました。お葬式で幸ちゃんが弔辞で言われたように、病床にあっても司教様は最後まで見守って下さり、高松教区の多くの力と参加者の方々の思いが結集されて実現した、と私も思います。多くの善いものが巡り行くと確信します。本当にありがとうございました。【高山 徹】

NWM in 四国から数ヶ月が経ちましたね。高松教区は青年が少なくたくさんの方々の支えの中やりきることが出来ました。参加したみなさんはどうでしたか？良かった！と思ってくれたなら嬉しいです！みなさんの笑顔を見ることができ、とても嬉しく思いました。初めての試みで、至らない点がありましたが本当にありがとうございました。また他の場所で巡り会える日を楽しみにしています。 【小川麗子】

第30回NWMin四国が終わり、約3カ月立ちました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。私は、今回初めてNWMに参加しました。（スタッフの一員として）ミーティングにほとんど参加することが、できておらず不安しか、ありませんでした。いざ本番を迎えて、プログラムが進み、班の活動や分かち合いにより、不安はなくなりました。「めぐる」という今回のテーマのもとに、人との出会いの大切さとその出会いが、無限の樹形図という人のつながりを作っていくと感じました。今度は、一参加者としてNWMに参加したいと思いました。【本田浩規】

今回NWMのお手伝いをさせていただいて、いちばんよかったなと思えるのは、長かったようであっという間だった準備の一年間、同じテーマを深めあったこと。いつもめぐる思いを心にとめておく心地よさ。わたしもこの歳で（笑）みずみずしさを少しは取り戻せたかもしれません。忘れかけていた宝物をまた掘りおこした感じです。そして、参加者のみなさんが送ってくださった「結願メール」には、等身大で受けたものを分かち合えたうれしさに、本気で涙しました。自分ではうまく言えなかったけど言い表してくれたと思えるものや、信仰的に刺激を受けるものもたくさんありました。ありがとうございました。この素晴らしい時間をくださった神さまに感謝です。　【Ｓｒ.山内留美子】

NWMを通して得たことは2点あります。1点は自分が高松教区で良かったと心の底から実感した事です。青年の人数が少ない高松教区では、NWMの開催は無理だろうと思っていましたが、多くの聖職者や信徒の助けによって実現することが出来ました。結果、参加者の皆さんは高松教区の暖かさに触れたのではないでしょうか。2点目は、私たち青年には語りかける力があると実感したことです。私たちが信仰生活の中で得た神様の奇跡は、自ら語り分かち合うことで、そのお恵みは広く巡っていくのだとNWMを通して経験しました。NWMで受け取った喜びを自分のなかで停めずに、様々な形で巡らせていきたいです。【河合幸】

四国に来てくれる青年が巡礼に触れ、人生という旅路の中で、同行二人のお相手イエスによっていつも見守られ、支えられ、愛されてきたことに気付くきっかけとなり、その喜びを参加者同士で共有し感謝できれば…、お遍路の地四国で開催されるにあたり、今回のNWMがそんな集いであったことを願っています。特に2つの特徴があったと思います。それは、四国の青年たちが体験を経験にして得てきた「信仰や神さまを語る機会」と、お接待や温かい四国の人々や自然を通しての「愛に包まれる雰囲気」です。NWM参加者の皆さんがこれらの刺激を受けて、今度は自分が語り、愛を配る側になっていく…。そんな流れが、今皆さんの続けている「めぐる」旅に反映されていればいいなと心から願っています。【Br. 八木信彦】

NWMと言うものを、今回初めて経験しました。しかも、いきなりスタッフとして参加するとは思ってもいませんでした。準備を進めていた青年の方は、それなりの信頼関係が築いていると思っていたので、正直に言いますと、その輪の中に入るのは抵抗感がありました。けれど、共に準備などを進めて行く内に一緒に活動している青年達と少しは馴染めたかな？と思います。このNWMに参加することで、自分の行く教会以外に顔見知りができたと言うことは、私にとってはとても嬉しい『めぐりあい』だと思います。

『めぐる』と言うテーマの時に参加できて良かったと思ってます。声を掛けて下さった頃、友人を亡くしていたので心がそちらに向いていませんでした。けれど、準備や、二日間を終えてみると神様に新しく出会いは『めぐる』んだよ！と教えてくれる貰えた気がします。四国の青年の皆さん、参加して下さった全国の皆さんに『めぐり会えた』事、そして自分が体験した事を『めぐらせて』行く事ができれば良いと思います。視野が狭かったものが広がった貴重な体験でした。NWMに参加できて、そして、皆さんと出会えた事が凄くありがたい事です。参加させてもらえた事に感謝です。『めぐる』には人それぞれ、思うものや感じる事は違うと思いますが、今でもこの体験に思いをめぐらせ、味わっております。貴重な体験でした。ありがとうございます。

【徳増 瑞穂】

さあ出かけよう次の「めぐる」旅へ

みんなの結願

・神様の愛に包まれていることをいつも忘れずに、みんな明日からも幸せに生活できますように

・普段の生活から離れて、素晴らしい景色を見ながら、初めて会った班のメンバーと信仰に関してさまざまな事を考えられました。この経験を自分のものにしていきたいです。

・8.8 箇所めぐりでたくさんの人と出会い、たくさんの優しさに触れました。日常に戻った時に、今回触れた優しさを周りの人にかえしていくことが出来ますように。

・準備ありがとうございます！！相当作りこまれていて、いい経験が出来ました。巡礼の良さはもちろん、四国の文化にふれることができたのが何よりよかったです。

・みんな共にいて歩んでくれたから、この歩みはとても楽しく、学びもあった。そしてもちろんキリストも、恵みに感謝！！キリストのように、私も何かしら人に与えることを実践していきたいです。

・歩いた道のりの中でイエス様が歩んだ人生と十字架に思いを馳せました。今日、歩いた道だけでなく、私の人生の道のりにもイエス様、神様がいつも共にいてくれたことに改めて気づかされました。こんなにも穏やかになれたのは久しぶりで、心が平安に満ちています。

・口ではなく、頭ではなく、黙々と「足」を使って共に歩むこと。それが愛かな・・・。

・惜しみない愛を受けました。その愛を周りに繋げていきたいです。世界中が愛に溢れたらいいな！！

・神様が作ってくださった太陽、海、大地、人々・・・全てのものから感じる想いやあたたかさを同行二人として連れていけて良かった。

巡　礼　を　経　て

発行元：カトリック青年連絡協議会
URL：http://catholicyouth.jp
E-mail：info@catholicyouth.jp
作成者：第 30 回 ネットワークミーティング in 四国実行委員会